

◆◆◆ 教えて！ウエヤマ先生！！ ◆◆◆

幼児期の子供たちのお手伝いは、初めは保護者の姿を真似ることの楽しさや、やってみたいという気持ちから始まるでしょう。できた程度にかかわらず、保護者から「ありがとう」の言葉が言ってもらえることで、子供たちは役に立てた喜びや、認めてもらえた嬉しさを感じます。このようにお手伝いを通して心地よさを感じることは、誰かの役に立ちたい、人と協力したいという社会性の育ちにとって大切な経験です。食事の準備や掃除などのお手伝いには、大人の繰り返しの手助けが必要なことも多いですが、ゆっくりと見守っていききたいですね。



うえやま るつこ
上山 瑠津子先生

福山市立大学教育学部
児童教育学科 准教授／
研究分野は、幼児教育学、
発達心理学／
保育者の専門性に関する
研究を行っている。

◆◆◆ お手伝いに関するおすすめの本 ◆◆◆



しろくまちゃんの ほっとけき

わかやま けん
出版社:こぐま社

しろくまちゃんがお母さんと一緒にホットケーキを作ります。「ぼたあん」「ぶつぷつ」「ふくふく」と焼きあがる音は子供も声に出してまねをしたくなる絵本です。



ぐるぐる せんたく

矢野 アケミ
出版社:アリス館

絵本を洗濯機に見立て、いろいろな洗濯物がぐるぐる回るのが楽しく描かれています。読み終わったあとは、親子一緒に洗濯物をポン!と入れてみましょう!

紹介した本は広島県立図書館で借りられます!

★広島県立図書館

広島県立図書館 検索 <https://www2.hplibra.pref.hiroshima.jp/>



★家庭で「ちょっとやってみよう」と思える、役立つ情報を発信中

親子コミひろしま 検索 <https://www.pref.hiroshima.lg.jp/site/oyakokomi/>



子供にとって遊びや日々の生活の全てが学びです!

幼 児 (3～5歳) シリーズ12 お手伝い編

「遊び」は「学び」



CONTENTS

- ・遊びの中で、お手伝いを楽しむ。
- ・子供が飽きずにお手伝い好きになる3つのポイント。
- ・お手伝いを続けると、こんなプラス効果も!

遊び 学び 育つ ひろしまっ子!

広島県教育委員会乳幼児教育支援センター

「遊び」は「学び」

バックナンバーはこちら→



「遊び」×「お手伝い」で育まれる5つの力。

子供が大人のやっていることに興味を示し、大人の見よう見まねをするようになったら、家事の一部をお手伝いとして親子で一緒に楽しんでみましょう。お手伝いの後に「ありがとう、よくできたね」と褒めてあげれば、子供はうれしくてもっとやりたくなるでしょう。

子供にとって 遊びや日々の生活の 全てが学びです！



おおむね
4歳頃～



どうやったら
美味しそうに
見えるかな？

自分がつくった料理が食卓に並ぶと、きっと喜んでくれるはずです。

例えばボウルに材料を入れたり、混ぜたり、野菜をちぎったり、盛り付けたりするのもいいでしょう。子供が好きなメニューなら張り切って手伝ってくれるきっかけにつながります。

子供の発達は個人差が大きく、環境によって異なります。子供の個性や発達のペースを大切にして、温かく見守っていきましょう。

おおむね
5歳頃～



毎日使うお風呂をきれいにすることで、
「家族のために」という責任感が生まれてきます。

お風呂掃除は水遊び気分でお手伝いにチャレンジできます。自分できれいにしたお風呂に入ることによりやりがいや理解するきっかけにもなります。ただし、少ない水量でも溺れる危険性があるので、子供だけに任せるのではなく、親子で行うことをおすすめします。

親子で一緒に遊ぶ効果

- ★ 親子で同じ作業をすることで、親子のコミュニケーションになる。
- ★ できることが増えることで自信がつき、自立につながる。
- ★ 家族や人への思いやりが生まれ、社会性が身につく。
- ★ 人に必要とされていると感じ、自分自身の満足感を覚える。

子供の思いを大切に親子で一緒に楽しんで

子供によって、できることは様々です。できないからといって焦る必要はありません。子供が自分で考え、やりぬく場面を与えることは、子供にとって良い成長のチャンスになるでしょう。親子でお手伝いを通したコミュニケーションを楽しみましょう。

おおむね
3歳頃～



自分でもやってみたいという気持ちを大切に、
あたたかく見守ってあげましょう。

大人がやっていることに興味を持ち、自分でもまねをしたがる時期。
子供は大人のことをよく観察しています。